

第10回根室市創生有識者会議議事録（平成30年11月22日開催）

1 開会（事務局・佐藤室長）

（事務局・佐藤室長）

ただいまより第10回根室市創生有識者会議を開会いたします。
開会にあたり、石垣市長よりご挨拶を申し上げます。

（石垣市長）

本日は、大変ご多忙の中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。根室市創生有識者会議の開催にあたり、一言、ご挨拶申し上げます。

今回で通算10回目の開催となる本会議でございますが、昨年度開催の会議において、根室市創生に向けては、「好調なふるさと納税を軸に一点突破すべき」とのご意見から、ふるさと納税を原資とした地方創生関連基金の設置について総合的に取り組むこととなりました。

これを受け、市では平成29年度に新たな目的別に7つの基金を設置するとともに、計16億円を積立てたところであり、根室市創生の推進力を一気に高めることができたと思っております。

根室市は、少子化に起因する人口減少など、課題は山積しているところでありますが、今月行われた日ロ首脳会談において、1956年の日ソ共同宣言を基礎に平和条約交渉を加速することで合意されたことは、心強く感じるとともに、根室市の将来にも希望の持てる結果であり、少しずつですが、着実に明るい話題も見えつつあると感じております。

本日の会議におきましては、根室市創生の更なる推進のため、皆様から忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

（事務局・佐藤室長）

それでは、これより議事に入りたいと思います。これからの進行は石垣市長にお願いいたします。

2 報告事項（進行：石垣市長）

〔市長〕

それでは、早速議事に入ります。本日は、報告事項2件、検証事項、協議事項が各1件となっております。

報告事項（1）根室市人口動態分析、（2）根室市市民意識調査報告書について、事務局より説明をお願いします。

（1）根室市人口動態分析について〔説明：事務局・塩原主査〕※資料1に基づき説明

- ・根室市の2017年（1月～12月）の減少数は前年比で619人であり、女性の減少幅が大きな結果となっております。
- ・中でも25歳から39歳の女性、子育て世代に当たる女性の転出超過が大きな割合を占めており、また0歳から4歳の転出超過が多くなっています。
- ・2018年10月末現在では、426人の減少となっており、人口減少の傾向は変わりませんが、女性の人口減少幅については、前年と比べ圧縮されています。

(2) 根室市市民意識調査報告書について〔説明：事務局・塩原主査〕※資料2に基づき説明

(基本目標1、子育て・少子化対策に関する分野)

- ・子育て・少子化対策に対する満足度意識について、本年の傾向では、不満と感じる市民が大幅に減少している。
- ・子育て・少子化対策について重要だと思う施策について、経済的負担の軽減が28.8%、子どもがのびのびと遊べる施設の整備が24.4%と、二つの項目に集中している。
- ・子育て・少子化対策についての自由意見について、経済的支援、託児機能、子どものための全天候型室内施設に関する項目について集約している。

(基本目標2、経済・産業に関する分野)

- ・産業振興について重要だと思う施策について、水産業基盤及び生産体制の整備が25.0%、企業誘致による雇用の場の確保が13.6%、また、観光開発、観光関連産業の育成が11.3%と、新たな産業として、観光分野に対する期待がある。
- ・経済・雇用対策についての自由意見について、漁業や水産加工業の新たな取り組み、水産業だけに頼らない新たな産業振興に対する意見が多く、中でも漁業に関しては、新たな漁場の確保、養殖事業への取り組みなどが挙げられている。
- ・観光分野に関連した交流人口の拡大に関する市民意見について、根室市が有する自然や水産源を有効活用してPRして欲しいという意見が多い。

(基本目標3、市民協働に関する分野)

- ・市民の街づくりへの参加意識について、今回の市民意識調査のようなアンケートで意思表示をしたいという意見が最も多い。
- ・市民協働についての自由意見について、行政情報の発信に関して、災害情報や各種イベントの情報提供の要望が多い。

3 検証事項 (進行：石垣市長)

〔市長〕

それでは、次に検証事項として、根室市創生総合戦略における平成29年度の取り組みの効果検証について、事務局より説明をお願いします。

(1) 根室市創生総合戦略における平成29年度の取り組み（H29.4～H30.3）の効果検証について

基本目標1

○住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

〔説明：事務局・佐藤室長〕※資料3に基づき説明

数値目標の設定について

- ・合計特殊出生率を5年で1.49とし0.12ポイント向上
- ・年少人口割合を5年で10.3%とし0.3ポイント向上
- ・幼稚園・保育所待機児童数を5年で季節待機児童0人達成
- ・市内分娩可能施設を5年で分娩できる医療施設1カ所

有識者会議における平成28年度の検証結果について

- ・「B 概ね順調に進んでいる」

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）の達成状況について

（ア）子育て・少子化対策の推進

①出会い、結婚、妊娠、出産、育児に関する機会や相談、支援体制の強化

[内部検証]

平成29年度のKPIの状況及び具体的事業の実施状況から「B 概ね順調に進んでいる」とし、今後の課題と対応方法については、独身者の出会いの場の創出について、民間団体が主体となったイベントが活発になっており、市として一定程度の役割を果たしたと認識しているところでありますが、子育てサークル活動に停滞感が見られ、育児に関する悩みや不安に対する相談体制の充実等、支援のあり方等について検討する必要があります。

②子ども医療費助成など子育て世代の経済的な負担軽減の推進

[内部検証]

平成29年度のKPIの状況及び具体的事業の実施状況から「B 概ね順調に進んでいる」とし、今後の課題と対応方法については、市民意識調査の結果や国の動向も踏まえ、更なる負担軽減に向けた対応を検討する必要があります。

③保育施設の整備と多様な保育サービスの充実

[内部検証]

平成29年度のKPIの状況及び具体的事業の実施状況から「B 概ね順調に進んでいる」とし、今後の課題と対応方法については、市民意識調査において「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」の要望が高いことを踏まえ、保育サービスの充実のみならず、子どもたちの遊びの施設整備など、子育て環境の充実についても検討する必要があります。

④家庭と仕事の両立を図り子育てに取り組む環境づくりの推進

[内部検証]

平成29年度のKPIの状況及び具体的事業の実施状況から「B 概ね順調に進んでいる」とし、今後の課題と対応方法については、引き続き先進地の事例等を参考にしながら、家庭と仕事の両立に向けた環境づくりの検討を図る必要があります。

（イ）周産期医療と小児医療体制の整備

①安心して子どもを産み育てられる周産期医療と小児医療体制の整備

[内部検証]

平成29年度のKPIの状況及び具体的事業の実施状況から「B 概ね順調に進んでいる」とし、今後の課題と対応方法については、引き続き医師確保対策のほか、助産師の確保対策などを進め、安定的な周産期医療体制づくりに取り組む必要があります。

[市長]

それでは、ただいまの説明を踏まえて、検証を行っていききたいと思います。

基本目標1は、主に子育て・少子化対策に関する分野でございますが、ご意見などありましたら、伺っていききたいと思います。

[宇井委員]

分娩については、経産婦のみ再開しておりますが、一番不安を抱える初産の方のためにも、市長を中心に、ぜひ実現していただきたいと思っております。

子ども・子育て会議でもお話ししましたが、先天性難聴のスクリーニング検査というものがあります。

「新生児聴覚スクリーニング検査全例検査にむけて10年の歩み」というものが、産婦人科学会から出ておりが、それには千人に一人が何らかの先天性聴覚障害を持ったお子さんが生まれているとあり、そんな中であっても、検査の公費負担のところは北海道でもゼロなんです。

根室市は医療費などについて拡充されてきてますので、市立根室病院に検査機もありますし、ぜひ北海道に先鞭をつけていただきたい。

スクリーニング検査は料金が発生するので、検査をしないお子さんもいます、検査機のない病院で生まれたお子さんは検査ができません。

私どもの施設を利用している方のお話ですが、現在、高学年のお兄さんは、1歳半になるまで聴覚の障害について全くわからないで状態で、その妹は0歳でお兄さんの検査についていったため発見が早く、早期に人工内耳をして補聴器をつけて滑らかにお話しできます。

お兄さんもそれなりには話しますが、やはり2歳の壁はすごく大きいので、そういう意味では先鞭をつけて、今すぐ公費負担は無理であっても、また、1か月以内であれば検査ができますので、根室市以外で生まれた新生児についても受入れをするなど、ぜひご検討いただきたい。

[事務局（齋藤市民福祉部長）]

この案件につきまして調査をいたしました、市立根室病院の小児科の先生からも、出生後3日以内に検査をするのが望ましいとお話をいただいているところです。

このことについては、現在、政策会議で検討しているところでございます、実現するまでにはもう少し時間がかかると思いますが、難聴のお子さんが早期に発見されて、治療などに向かわれるようになるのが一番望ましいと考えておりますので、検討していきたいと思えます。

[市長]

現在、ちょうど政策会議に上がっておりまして、今のお話は大変参考になりました、ありがとうございます。

[宇井委員]

一番精度が高いのは3日以内ですが、1か月以内であれば検査ができるので、根室で出産していなくても、根室に帰ってきた時や、一か月健診の時などに、市立根室病院でも検査ができるような、幅を持たせた検討もお願いいたします。

[事務局（齋藤市民福祉部長）]

ありがとうございます、参考にさせていただきます。

[市長]

基本目標1について全体の評価をしていきたいと思いますが、昨年度は、少子化対策について、「B 概ね順調に進んでいる」と評価をいただいているところですが、各施策の状況を踏まえて、石井吉春先生はどのような評価をされますでしょうか。

[石井（吉）委員]

施策自体はそれなりに進んでいると考えていいと思いますが、KPIに市民意識調査の満足度を指標にしているところが3つとも目標とのものすごい乖離があって、目標達成がほとんどできないというような印象を受けますが、市民の満足度のレベル感がものすごく高すぎ

るのではないか、そういう言い方を敢えてしておきたいのですが、その乖離が埋まっていないことが、問題であるといえます。

全体で市民意識調査を見ていきますと、個別の政策や環境に対する評価はすごい厳しい、だけど住み続けたいという答えになっています。本当はそうじゃないはずなんです、住み続けたくないはずなんです、そういう悪い地域であれば。

住み続けたいという指標は数字が高いのに、個々のサービスに対してはすごく厳しいという、それはギャップをどう埋めるか、もしくは目標値をどうするのかという話になります。

地方創生の原点というのは、ふるさと意識といいますが、ふるさとに対する愛着や、満足も含めた気持ちというのがベースになって、一回出て行っても戻って来ようと思うのは、そういうふるさと意識に根付くので、こういう数字が毎年出ていると良くない。

現実には、環境が良くなってるものも全然評価されていないので、市民意識と言っても、何に裏打ちされて答えていただいているのか、そこを考えていただきたい。

客観的な状況の中でサービス水準はどうなのかという事が全然浸透していないのではないと思う、先ほど産婦人科の話もしていましたが、根室市でようやく医師を確保して、分娩を再開したというのはものすごい努力の結果で、その努力などを分かってお答えいただいているのか、率直に引っ掛かりますので、何らかの形で、その部分是对応を考えていただかないと、最後になって結局KPIは全然達成できていないけど、それなりにうまくいっているような評価は逆に矛盾してしまうので、もしかすると設定の仕方が本当に悪かったのかもしれないと思いますが、その点だけぜひご検討いただければと思います。

[市長]

これから根室は雪が降り出しますが、もし、除雪の結果が札幌の裏道のようなようだったら、電話がたくさんかかってきます。

かなりきれいに雪を掻かないと、なかなか市民は納得してくれませんので、今の話はなるほどなと思いながらお伺いしていました。

[事務局（金田総合政策部長）]

市民意識調査の満足度ですが、先日、市内の方々から「子育て世代の皆さん大変喜んでいいる」とお話をいただきました。

しかし、市民意識調査をみると、まだまだ不十分というようになっており、どんな形でこの満足度を指標とすることがいいのか、見直しも含めて考えていきたいと思っております。

また、「明るい発信を進めていただきたい」という要望も来ておりますので、その辺も踏まえながら対応をしていきたいと考えております。

[宇井委員]

今、ネットの時代で、若いお母さんたちはスマホで情報交換を頻繁にし、他の地域と比べて「今、札幌ではこうだ」など、根室も拡充している部分はすごくありがたいけれども、「根室にいるから出来ないということはないじゃない」という感覚がアンケートにも表れているのではないかと思います。

[石井（吉）委員]

おっしゃる通りだと思います、どこもすべて同じサービスができるということはないので、特色付けは必要だと思いますし、絶対守るべきサービスは何かということの議論はしていく必要があります。

サービス水準が他より低いからダメというのは、正しいようで実は正しくないといえますか、土地土地のおかれた環境がありますし、無限にお金があれば、同じサービスが全部でき

ますけれども現実的には難しい。

いずれにしてもK P Iの目標になっている以上、どうなっているのかということをお願いだけで、足りないところは当然あると思うので、それを更に具体的に何をどうすべきかということについて、必要な議論をするというと思います。

[市長]

ただいま、石井先生からご意見をいただき、K P Iの満足度について、うまく周知し、お互いに納得した中で近寄っていくかという課題もあります。基本目標1の評価については、「B おおむね順調に進んでいる」と評価させていただきますが、皆さんいかがでしょうか。

※【委員了承】

基本目標2

○住みたいと思える「ひと」と「しごと」を呼び込み、安定した雇用、新しい人の流れをつくる

[説明：事務局・佐藤室長] ※資料3に基づき説明

数値目標の設定について

- ・20～39歳女性の人口を5年で32人減少を抑制し2,357人確保
- ・生産年齢人口の割合を5年で56.5%とし0.1ポイント向上
- ・人口減少率を5年で0.81%とし0.97ポイント向上

有識者会議における平成28年度の検証結果について

- ・「C やや遅れている」

具体的な施策と重要業績評価指標（K P I）の達成状況について

(ア) 経済・雇用対策の推進

①労働力不足解消のための雇用のミスマッチ解消など需給不均衡の改善

[内部検証]

平成29年度のK P Iの状況及び具体的事業の実施状況から「C やや遅れている」とし、今後の課題と対応方法については、引き続き女性が働きやすい環境づくりと、人材確保対策を進めつつ、更なる就業環境の充実とともに、新たな雇用創出のための対策が必要であるとしております。

②U I ターン者向け支援の充実による起業促進と労働力の確保

[内部検証]

平成29年度のK P Iの状況及び具体的事業の実施状況から「C やや遅れている」とし、今後の課題と対応方法については、介護従事者修学資金貸付事業や人材確保対策事業など実績が低い事業について、内容及び周知方法等の検証を行う必要があるとしております。

③商工業後継者の不足に伴う事業承継のための支援等の充実

[内部検証]

平成29年度のK P Iの状況及び具体的事業の実施状況から「C やや遅れている」とし、今後の課題と対応方法については、K P Iの一つについては順調に推移しているが、未着手事業の早期展開を図り、若者の定着のための新たな雇用の場の創出に向けた取り組みが必要であるとしております。

④農林漁業の持続的な発展及び担い手対策の推進と若年就業者の定着化促進

[内部検証]

平成29年度のKPIの状況及び具体的事業の実施状況から「B 概ね順調に進んでいる」とし、今後の課題と対応方法については、一次産業の持続的な発展のための産業基盤の強化を図るとともに、担い手対策に取り組む必要があるとしております。

⑤産学官金の連携及び農商工連携と6次産業化の促進

[内部検証]

平成29年度のKPIの状況及び具体的事業の実施状況から「B 概ね順調に進んでいる」とし、今後の課題と対応方法については、資源増大や付加価値向上に向けた産学官金連携を加速するほか、引き続き国内外に向け発信を行い、ブランド化を促進する必要があるとしております。

(イ) 交流人口の拡大

①長期滞在者など交流人口の誘客強化と本格移住の促進

[内部検証]

平成29年度のKPIの状況及び具体的事業の実施状況から「B 概ね順調に進んでいる」とし、今後の課題と対応方法については、団塊世代をターゲットにした移住体験住宅の利用状況は順調であるが、青年層の移住促進の取り組みなどについて、地域おこし協力隊の更なる活用などを検討する必要があるとしております。

②世界に誇る自然、歴史、食の魅力を発信する観光プロモーションの強化

[内部検証]

平成29年度のKPIの状況及び具体的事業の実施状況から「B 概ね順調に進んでいる」とし、今後の課題と対応方法については、根室の持つ「絶景」と「食」の魅力の発信強化を図るとともに、冷涼な気候をPRし、更なる誘客を図ることとしております。

[市長]

それでは、ただいまの説明を踏まえて、検証を行っていききたいと思います。

基本目標2は、主に産業・雇用に関する分野でございますが、ご意見などありましたら、伺っていききたいと思います。

[石井至委員]

基本目標2は、観光に取り組むと一気にいろいろ解決すると思います。

例えば29ページのKPIの新規創業件数ですが、これも観光関係で創業すると、今、観光は一大産業になっておりますので解決します。

32ページの商店街における出店舗数というのも、観光のお土産屋ができると、あっという間に増えると思います。

34ページの新規狩猟免許取得者数についても、観光の目的としてくる人もいます。

36ページの6次産業化についても、典型的な観光のメニューです。

40ページの長期滞在者の滞在日数というのも、隣の釧路市はずいぶん成功していますけども、これについても観光です。

43ページ、ここがまさに観光そのものですが、外国人宿泊客数、観光客入込数など、これは今から考えますとKPIの設定が低いと思います。国は日本全国平均でいうと、3年で50%くらいアップしているので、目標が10%くらいプラスでOKというのは、全国的に

いえば一番遅い感じですが。

具体的には44ページ85番、欧州等を対象にしたシティプロモーションや、86番、根室地域グローバル観光推進事業など、無線LANや多言語看板を設置することも必要なんです。受入環境を整備しても人が来ないと宝の持ち腐れになってしまいますので、観光分野について、日本は世界新記録を出しているくらい調子よくインバウンドを伸ばしている国なので、その成功例をもっと取り入れると、大幅に伸びて、先ほど申し上げたいいくつかのKPIは一気に改善すると思います。

今、根室市はお金に困っていないので、2、3年で一気に解決するのではないかと考えていますので、ぜひ観光について研究していただきたい。

[岡野委員]

観光業は切り札であり、観光振興はまちづくりそのものだと言われています、ただ観光業というものは一部の業界の人たちのものというようなイメージがあるものですから、まずは、観光業は根室市にとって必要なものだと、一部だけでなく、本気で取組めばその効果は裾野に広がっていくものであるということ、広く根室市民に発信していく必要があると思っております。

その上で、根室市はターゲットをしっかりと絞り、例えば国内客か外国人か、団体か個人か、バードウォッチャーや一部の富裕層をターゲットにするのか、そういったことをしっかりと明確にした上で、根室市に訪れていただいたお客様に何をさせていただくのか、コンテンツの磨き上げをやっていかなければいけないと思います。

ただ、ターゲットを絞るとするのは、それだけに特化して取り組んでくださいということではなく、優先順位や力の入れ具合を明確に決めた方がいいということです。

先日、根室市観光協会の今後の在り方についての委員会を立ち上げましたので、そちらと連携をとって進めていただければと思います。

[本間委員]

24歳～39歳の女性がどうして流出したのか、どうすれば流出しなかったのかを考えると、何かヒントが出てくるのではないかと思います。

流出人口を減らしたいのか、流入人口を増やしたいのか、どちらも実現したいと思いますが、流出人口を抑えるには、いろいろなケアをしなければ大変で、流入人口を増やすためには、一点突破型のものが非常に重要となると思います。

現在、花咲線が非常に盛り上がりを見せている状態ですが、私の友人が花咲線のプロモーションを見て実際に来てみたところ、がっかりして帰っていきました。と言いますのも、それ以上のものがないからです。

根室駅に着いたら、おすすめの場所や、今の季節は何が魅力的で、それを味わうにはどうすればいいのかということ、を指南するようなワンストップ窓口を作り、そこに行くとあのプロモーションビデオになかった良さを発見することができる。あるいは違う季節に来たいと思わせることができる。

そういうものが無いと、せっかく盛り上がっているのにも関わらず、マイナスのイメージがついてしまい下降減少の方に向かってしまうので、今、熱いうちに、どこに資金を投入するか、それがどう効果的なものになるかということをやった方がいいと思います。

我々マスコミが興味を持つのはそういう内容であって、報道することによって相乗効果となって、いい循環に持っていく事が必要ではないかと思えます。

[佐藤委員]

実際に根室市を訪れた方々から、お土産を買いに行ってもカードが使えないとお話を聞きます。今の時代、現金を持ち歩かない方も多くいらしゃいますので、お土産屋や飲食店で

カードが使えないというのは時代に乗っていないと思います。

このところ人口減が進んでおり、水産工場もなくなるというようなこともあり、そこで働いていた方々はどうなるのか、市内で働く場がなければ地方へ行ってしまう。観光も大事ではありますが、働く人々を守る産業が必要だと思っています。

毎年、25人から30人くらいの職員を採用するために、試験や面接をし、内定を出しますが、半分の方々が辞退をする状況です。昔は就職するなら、役場か農協か漁協かと言われていた時代もありましたが、今では地元の人でさえ農協に就職してくれないというような状況でありますので、何か地元に残れるような対策が必要だと思っています。

[伊藤委員]

地域に人がいなくなってしまうということは、結局、働く場所がないからということで、企業が強い地域でなければ地域は強くないと思っています。倒産件数の何倍もの後継者不足による廃業があり、事業承継など、なんとかしなければ働く場所がなくなって、人が流出してしまうという状況になってしまいます。

昨日、事業承継のマッチングについて重要なお話を伺いました。

売りたいという方の登録件数が1,800件に対して、買いたいという方が18,000件、個人が半分、法人が半分、女性や定年退職した方々が、新たに最初から始めるのは難しいため、今あるものを買いたいといったニーズがすごくあるというお話でした。

何もしなければ、その事業も働く場所もなくなってしまうかも知れない、地域にとっては必要かもしれない企業も後継者がいないばっかりになってしまうかも知れない、そこを人に来ていただいて、住んでいただいて、また雇用が維持される、やり方によっては更に増えていくという可能性もあるのではないかと思いますので、地域として取り組んでいく価値があると思います。

[市長]

基本目標2について全体の評価をしていきたいと思いますが、昨年度は、「C やや遅れている」と評価をいただいたところですが、各施策の状況を踏まえて、石井吉春先生はどのような評価をされますでしょうか。

[石井（吉）委員]

状況としては「C やや遅れている」という評価になると思います。今までの議論で観光に重点を置くと解決できるというお話があって、短期間で具体的に実施をすると非常に意味があると思います。

女性の転出というのが、基本目標1の方にも影響してくるのですが、出生率が高くなっても、女性の数が少なくなっているは何の意味もないわけですから、20～39歳の女性が根室市に定住しているというのが非常に大きな目標になると思います。

観光に関わる部分についても、女性の起業等も考えられる分野ですから、女性に特化した政策展開ということを具体的に考えていただくことも必要と思います。

北海道は、地方に行けば行くほど、男性が中心という感覚ありますが、根室市で市役所だけではなく代表的ないくつかの組織が率先して、男性より女性の採用を多くするなど、一歩踏み込んだ雇用対策をしなければ、女性を受け入れる体制ができないのではないかと、そこがうまくいかなければ人口減少には歯止めがきかない状況になりますので、具体的に何かやれないかということについて、民間を巻き込んだアクションプランを考えていただく必要があると思います。

[市長]

ただいま、石井先生からご意見をいただきましたが、アクションプラン含め観光や女性

に対する取り組みを行うということで、基本目標2の評価については、「C やや遅れている」と評価させていただきますが、皆さんいかがでしょうか。

※【委員了承】

基本目標3

○みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する

[説明：事務局・佐藤室長] ※資料3に基づき説明

数値目標の設定について

- ・地域活動や審議会等への女性の参加率を5年で25.0%とし4.4ポイント向上
- ・まちづくりへ参加したいと思う市民の割合を5年で85.0%とし5.6ポイント向上
- ・20～39歳女性人口について、5年で32人減少を抑制し2,357人確保

有識者会議における平成28年度の検証結果について

- ・「C やや遅れている」

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）の達成状況について

(ア) コミュニティの維持・活性化

①市民活動団体の育成や市民活動の組織化、ネットワーク化の支援

[内部検証]

平成29年度のKPIの状況及び具体的事業の実施状況から「C やや遅れている」とし、今後の課題と対応方法については、ボランティアやサークル活動に関する情報発信を強化し、より活動に参加しやすい環境づくりに努め、市民活動の活性化を図る必要があるとしております。

②コミュニティ活動を牽引する「まちづくりコーディネーター」などの育成

[内部検証]

平成29年度のKPIの状況及び具体的事業の実施状況から「C やや遅れている」とし、今後の課題と対応方法については、これまでの実績を踏まえ、引き続き、あらゆる分野で地域おこし協力隊の活用を検討するとしております。

(イ) 地域環境との共生

①既存公共施設の有効活用による都市機能の充実

[内部検証]

平成29年度のKPIの状況及び具体的事業の実施状況から「C やや遅れている」とし、今後の課題と対応方法については、公共施設の利活用にあたっては条件の整理を含め具体的な事業を進めるための準備を行う必要があるとしております。

②官民協働による地方創生の推進

[内部検証]

平成29年度のKPIの状況及び具体的事業の実施状況から「B 概ね順調に進んでいる」とし、今後の課題と対応方法については、官民協働による地方創生を進めていくため、引き続き、企業、団体等と受入れにあたっての調整を行う必要があるとしております。

(ウ) 地方創生の計画的な推進

①ふるさと納税制度の推進と寄附金を活用とした地方創生

[内部検証]

平成29年度のKPIの状況及び具体的事業の実施状況から「A 順調に進んでいる」とし、今後の課題と対応方法については、平成29年度に地方創生関連7基金を新たに設置し、寄附金の活用について、より明確化を図ったところであり、今後は基金設置時に設定した目標額に向けて、計画的に積み増しを行い、総合戦略事業の安定的な実施により、根室市創生を推進するとしております。

7基金について

- ・「子ども未来基金」
子ども医療費の助成など子育て世代の経済的な負担軽減を推進
累計／目標額 350,000千円／350,000千円
- ・「地域医療安定化基金」
医療体制の維持など市立根室病院の経営健全化を推進
累計／目標額 200,000千円／700,000千円
- ・「人材確保対策安定化基金」
修学資金の貸付など専門人材の育成・確保対策を推進
累計／目標額 200,000千円／400,000千円
- ・「公共交通維持安定化基金」
市内バス路線、JR花咲線など生活路線の確保対策を推進
累計／目標額 100,000千円／300,000千円
- ・「交流人口拡大促進基金」
国内外の観光客や長期滞在者など交流人口の誘客強化を図る
累計／目標額 150,000千円／200,000千円
- ・「屋内遊戯設備整備運営基金」
市民要望の高い、子ども向け屋内遊戯場の早期整備を図る
累計／目標額 300,000千円／500,000千円
- ・「漁業資源増大対策基金」
ホタテ稚貝放流など、沿岸漁業資源の増大対策の強化を図る
累計／目標額 300,000千円／500,000千円

[市長]

それでは、ただいまの説明を踏まえて、検証を行っていきたいと思います。

基本目標3は、主に市民協働・地域づくりに関する分野でございますが、ご意見などありましたら、伺っていきたいと思います。

[石井（吉）委員]

仮置きした外部検証結果と、内部検証結果のバランスについてですが、市民協働の部分は出来ていないと思いますが、それ以外のことはものすごく出来ているのにも関わらず、それでも総合評価で「C やや遅れている」というのはバランスが悪いと思います。

全体的に言うと、新しい市民サービスができる材料はかなり整えたというのが、ここ数年の動きかと思えますし、そういうところは素直に評価した方がいいと思いますので、総合評価は「C やや遅れている」ではなく「B 概ね順調に進んでいる」にしていただきたい。

そうしていただかないと、何をやっても這い上がれないということになってしまいますし、私共もどうしたらAとかBになるのか想像できませんので。

[市長]

今、ふるさと納税が順調で、それぞれの政策も進めていて、ただ市民参加がなかなかないというアンバランスの中で、「C やや遅れている」ではなく、「B 概ね順調に進んでいる」という評価がいいというお話ですが、私どもの方で「C やや遅れている」と仮置きしておりましたが、「B 概ね順調に進んでいる」という評価でよろしいでしょうか。

※【委員了承】

では、基本目標1から基本目標3まで、全ての外部評価をいただきました、**基本目標1**については「**B 概ね順調に進んでいる**」、**基本目標2**については「**C やや遅れている**」、**基本目標3**については「**B 概ね順調に進んでいる**」という評価になりました。

4 協議事項（進行：石垣市長）

[市長]

続きまして、協議事項の根室市創生総合戦略の一部改訂について、事務局より説明願います。

(1) 根室市創生総合戦略の一部改訂について [説明：事務局・佐藤室長]

※資料5に基づき、基本目標1～3まで一括説明

- ・今回の改訂につきましては、事業等の追加、時点修正を行ったところであります。

【基本目標1】

頁	追加事項	内容等
12	具体的な事業欄に「幼児発達相談事業」を追加する。	現状、専門家の心理相談が必要な児の保護者からの相談を受ける体制がないため、専門職の派遣を受け、幼児発達相談の機会を提供するための環境を整備する。
	具体的な事業欄に「新生児聴覚検査費助成事業」を追加する。	現状、経済的負担を理由に検査を受けていない児がいるため、全ての新生児が検査を受けられるよう経済的支援をし、先天性聴覚障害の早期発見・早期療育への環境を整備する。
13	具体的な事業欄の「こども医療費給付事業」の給付対象を拡大する。	現在、高校生までの入院、小学生までの入院外を給付対象としているが、平成32年度を目途に高校生までの入院外に給付対象を拡大する。
	具体的な事業欄に「(仮称) 幼児教育無償化事業」を追加する。	国の幼児教育無償化と連動し、子育て世代の経済的負担の軽減を図る。
	具体的な事業欄に「新生児聴覚検査費助成事業(再掲)」を追加する。	12 記載内容と同じ

14	本文に屋内遊戯施設の整備及び認定こども園への移行支援に関する文言を追加する。	◎幼保連携型認定こども園整備補助事業 睦の園幼稚園において、国の幼児教育の無償化等を踏まえ、施設を現地改築し、幼保連携型の認定こども園への移行を予定しているもの。
	具体的な事業に「幼保連携型認定こども園整備補助事業」、「子ども向け屋内遊戯施設「(仮称)ふるさと遊びの広場」整備・運営事業」を追加する。	◎子ども向け屋内遊戯施設整備・運営事業 強風、降雪や沿岸部特有の海霧などの影響から夏場においても屋外での遊びに不自由している状況にあることから、子どもたちが自由に遊ぶことのできる場所として、全天候型の屋内遊戯施設を設置する。
15	具体的な事業に「幼保連携型認定こども園整備補助事業(再掲)」を追加する。	14 記載内容と同じ

【基本目標2】

頁	追加事項	内容等
17	「基本的な方向」本文中に、地域資源がもたらす「絶景」と「食」とともに、「日本一涼しい町・根室」をPRする文言を追加する。	観光施策の展開に当たっては、「絶景」と「食」の魅力発信強化を図るとともに、「日本一涼しい町・根室」をPRし、観光客を始め、長期滞在者の受入強化など交流人口の拡大を図り、その成果をUターン者や移住者の獲得に繋げる。
	本文中に、就業環境の充実と雇用創出に向けた企業誘致を推進する文言を追加する。	市内の就業環境の充実と雇用創出に向けた、企業誘致に関する市内プロジェクトとして、(仮称)根室市企業誘致推進本部を設置する。
18	具体的な事業に「企業誘致推進事業」を追加する。	17 記載内容と同じ
19 20	具体的な事業に「企業誘致推進事業(再掲)」を追加する。	
21	本文中に生産基盤の強化を図り一次産業の持続的な発展に取り組む内容を追加	北方四島における共同経済活動に資する拠点として、また、市中経済の活性化に寄与する基盤としての「(仮称)根室市栽培漁業研究センター」の開設を進める。
	具体的な事業に「(仮称)根室市栽培漁業研究センター整備事業」を追加	
24	本文中に、国内客をターゲットにした「絶景」と「食」の魅力の強化を図るとともに、「日本一涼しい町・根室」PRする内容を追加する。	17 記載内容と同じ
	具体的な事業に「花咲線利用促進PR事業」を追加する。	JR花咲線の利用促進に向けたプロモーション強化として、特設サイトの開設やPR動画の制作等を行う。事業実施のための財源は、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用したもの。

【基本目標3】

頁	追加事項	内容等
28	本文中、地方創生関連基金7基金が既に設置されたことに伴う文言の修正のほか、各基金名称及び内容について現行どおり修正。	平成30年1月条例改正により設置されたもの。 ○根室市ふるさと応援・子ども未来基金 ○根室市ふるさと応援・地域医療安定化基金 ○根室市ふるさと応援・人材確保対策安定化基金 ○根室市ふるさと応援・公共交通維持安定化基金 ○根室市ふるさと応援・交流人口拡大促進基金 ○根室市ふるさと応援・屋内遊戯設備整備運営基金 ○根室市ふるさと応援・漁業資源増大対策基金
	具体的な事業欄の「ガバメントクラウドファンディング（GCF）事業」の事業名変更。	「クラウドファンディング型ふるさと納税事業」に変更。

【質疑応答】

【宇井委員】

12ページに新規で幼児発達事業とありますが、これは5歳児健診を実施するというのでしょうか。

また、15ページ、放課後教室について、高知県高知市のように市の放課後教室で、どんなお子さんでも受け入れて対応するという運営規定があるのですが、根室市も最終的な目標がそこであったらいいなと思います。

今、私どもNPOでやらせていただいて6年目に入って、いろいろな保護者軽減などいただいて、本当にありがたいことだと思います。

市の放課後教室では、特別支援に関わるお子さんの受入れについて、どのように対応されているかお伺いいたします。

【事務局（齋藤市民福祉部長）】

幼児発達相談について、5歳児健診は将来的な目標ではありますが、今、発達の障害を持つお子さんが多くなってきているところで、まずは相談体制をつくり、将来的に専門の先生に繋げていこうという段階であります。

放課後教室について、こちらは教育委員会の所管ではありますが、特別支援の専門員を各学校に配置しておりますので、そちらの活用を図っていきたいということと、放課後教室の先生方については先月研修等を行っておりますので、今後配置していきたいと考えております。

現在、放課後教室に特別支援員の配置はありません。

【本間委員】

先程、後継者不足から廃業するというお話が伊藤委員からありました、それに対して手当をしないと、その産業自体がなくなってしまうと。これはとても重要なことで、今いろいろなところでマッチングをするコンサルなどもありますし、この前テレビで、自分の会社を息子には継がせたくないが、後継者が他にいたのであれば黒字の内に委譲したいというような番組をやっていましたが、それが根室にも切迫して起きているのではないかと思います。

例えば、銭湯は3件しかありませんし、レンタルビデオ屋さんが1件しかありません、市であれば、本来あるべき最低限のものが今なくなりつつあるということに対して手当をしなければいけないと思いますが、これは20ページの起業誘致推進事業になる気がしないでもないですけど、もっと戦略的に、根室市は今こういう事業で人が足りないということを積極的に打って出た方がいいと思います。

根室市には、これだけいい海鮮食材がありながら、海鮮中華のお店どころか中華料理屋もない。海鮮中華なら食べたいと思う旅行者もいるはずなのに無い、お豆腐屋さんもない、作りたてのお豆腐が美味しいということを忘れてしまったかも知れませんが、昔はもっとおいしいお豆腐が食べられたんです、ない産業、ない分野、あるいは事業は黒字でやっているけれども、後継者がいないから廃業してしまうということが、これからどんどん増えていく、今の内から手を打っていく必要があるのではないかと思います。

それは、地域おこし協力隊というような方法もあるし、技術等を伝授していくことに対するサポート、なにかいろいろな形があると思うので、新しい課題として取り組んだ方がいいのではないのでしょうか。

[市長]

それでは、基本目標1から3に関する見直しについて、事務局案のとおり、改正することでよろしいでしょうか。

※【委員了承】

最後に、石井吉春先生、石井至委員のお二人から、全体を通してご意見があればお願いしたいと思います。

[石井（吉）委員]

今後の進め方について、お願いをさせていただきたいと思います。

来年最終年度ということで、国の政策としての創生総合戦略というのは5年の3セットということだったと思いますが、根室市としてはこの5年をやって次のスタートラインがやっと見えてくるという段階だと思っておりますので、来年の検証については次の根室市の政策に繋がるような方向付けをして、せっかく始めたことですので効果が出るのはむしろもう少し先ということで、戦略的にもっと絞って、具体的にやっていくことについて、来年度あぶり出して整理するというのを、この場を使ってやっていただくといいのではないかと思いますので、ぜひご検討をお願いいたします。

[石井至委員]

先程、観光協会の在り方についてご検討しているとお聞きしましたが、全国的にDMOという組織が200件を超えて有り、世界水準のDMOを作ることを目的とした有識者会議が先月から始まって、私もその委員になっております。

DMOは3種類あり、北海道全体の広域DMO、複数の市町村で行う地域連携DMO、市単独で行う地域DMOというのがあります。

単独で構わないと思いますが、観光政策のコントロールタワーのDMOを、根室市の観光協会も目指すといいと思います。

また、支払いにカードが使えないという話もありましたが、手数料はかかりますが、スマホさえあれば出来るようになるので、観光協会の方が、お店の方に教えてあげればいいことではないのでしょうか。

先程、本間委員がおっしゃっていましたが、市民意識調査報告書の観光分野でいいますと、釧路の和商市場や釧之助のような観光客が集まれる場所がある方がいいというのはその通りで、要するに観光のランドデザインをしなければいけないということです。

長期滞在については、最近、釧路市が流行っていると、その理由について蛭名市長が「そこそこ都会だ」ということを言っていました。

要するに、自然があつて涼しいだけでは都会の人は退屈になつて長く滞在してはくれなくなるので、「そこそこ便利」でなくてはいけない、そういうニーズに応えるためにも、根室版の和商市場のような場所があると、その間楽しく過ごせるという事になると思いますので、観光協会は観光のグランドデザイン、情報収集も含めてDMOを目指し、DMOは補助金がとれるようになりますし、根室市は基金もありますので困らないと思います。

創生総合戦略とは直接関係ないのですが、2島だけでも戻ってきそうだという雰囲気になつてきて、安倍首相は本気でやる気で、任期の間にそこまでやるのではないかと具体的な話までしているようなので、根室市に神風が吹くのではないかと考えております。

その時に、観光にも絡むことですが、二次交通という点でいいますと、本当は根室市に空港があるといいのですが、高速道路は釧路まで来ているので、その延伸を速めてもらうのも、「北方領土が帰ってきたら根室市が交通の起点になります」と、北方領土に絡めてお話しされると速めてもらえる可能性もあると思います。

根室市が、あるいは根室市の方々が北方領土の2島返還に関して何か貢献できることがあるんだと、自分たちはこれで安倍首相に協力できると、だからその代わりに安倍首相も我々の望みを少し叶えてくれ、というくらいに言えるものが何かあると思いますので、その作戦を少し練っておくと、来年、再来年くらいにどこかのルートで陳情して、その二次交通の方も解決の糸口が見えてくるのではないかと考えて聞いておりました。

[市長]

それでは、根室市創生総合戦略について、事務局案のとおり、一部改正することでよろしいでしょうか

※【委員了承】

ありがとうございます。

それでは、本日の議事は、以上で終了ですが、最後に事務局から何かありますか。

[事務局（佐藤室長）]

ただ今いただいたご意見をもとに、一部改訂をいたしまして、後ほど郵送させていただきます。

[市長]

それでは、以上で会議は終了いたしますが、大変貴重なご意見をいただきました、また、やりがいのある、わくわくするような意見もありました、それをしっかり取り入れながら総合戦略に基づいた事業を着実に推進するため、今後も引き続き、委員皆様のご協力をお願い申し上げます。

本日は、誠にありがとうございました。

(了)